

# 安全報告書

## 2015年（平成27年）度版

本報告書は、鉄道事業法に基づき当社の安全確保への取組や安全の実態についてまとめたものです。

お読みいただき、皆様からのご意見をいただければ幸いです。

由利高原鉄道株式会社

# 平成27年度由利高原鉄道安全報告書

## 1. 安全確保に向けて経営トップからのメッセージ

弊社の鉄道事業に対し、日頃よりご利用とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。なりました。

平成26年度は、特筆する事故もなく無事終えることができ、さらに10月には由利高原鉄道開業30周年の式典・祝賀会を執り行うことができました。これはひとえに地域住民の皆様や行政の方々、由利高原鉄道を愛していただいているファンの皆様の熱い思いの結実と思っております。11月には世界ギネスチャレンジでエボルタ電池鉄道チャレンジを成功させました。今後も今にもまして暖かい応援をお願いいたしたいと思っております。また、平成28年4月より営業開始の貸切バス事業に向けて事業認可その他の事務手続きを進めてまいりました。二次アクセスが弱いといわれる鳥海山周辺に一人でも多くのお客様を呼び込むため、鉄道と一体となってバス事業も安定経営していきたいと思っております。

弊社では、「安全が第一」を経営理念に掲げ、経営トップが先頭に立ち、社員全員が一丸となり「安全・安心の提供」がお客様への最大のサービスであることを認識し、老朽設備の補修・更新を計画的に進め、安全で快適な輸送の提供に努めてまいります。

そのため社員は、基本動作と基本ルールの順守、さらなる業務知識のレベルアップを図り、安全風土の構築と定着に邁進し、お客様や社員の死傷事故と鉄道運転事故のゼロ及び輸送障害の縮減を目標として取組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組や安全の実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまからの声を輸送の安全に取り入れるため、是非、ご意見をお寄せください。

由利高原鉄道株式会社  
代表取締役社長 春田 啓郎

## 2. 安全に関する基本方針

当社は、安全・安心の提供がお客様への最大のサービスであるとの認識の下、社員一人ひとりが基本作業と基本ルールの順守へ真摯に向き合い、安全を最優先とする意識を徹底し、輸送の安全の確保に取り組みます。

安全の「基本的な方針」は安全管理規程で定める次の6項目とする。

- ①安全の確保は、輸送の生命である。
- ②規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③執務の厳正は、安全の要件である。
- ④事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑤情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

### 3. 安全目標

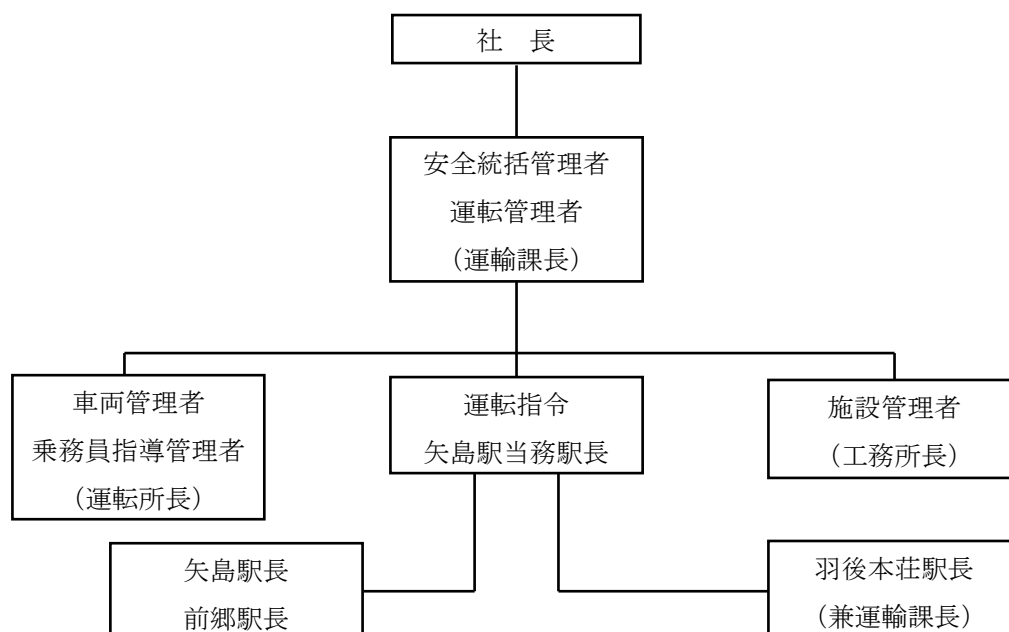
安全・安定輸送の確保は、鉄道事業者の最重要課題と位置づけ、安全管理者を中心に「事故は絶対起こさない」を合言葉に、規程の遵守、当事者意識の確立に努め、死傷事故ゼロ・鉄道運転事故ゼロと輸送障害の削減に努めてまいります。

### 4. 重点実施施策

- 安全・安定輸送の確保
  - ア 社員の育成（定期的な勉強会と先輩の経験値抽出の実施）
    - ・基本動作の再徹底と異常時対応能力向上について。（実地訓練の実施）
    - ・検修業務知識のレベルアップ。（知識の再確認）
    - ・構造物・電気設備の検査洩れ対策（スケジュール管理とチェック体制の確立）。
  - イ 鉄道施設検査記録の整備と老朽施設の整備（整備計画の推進）

### 5. 安全管理体制

当社の安全管理規程に基づき組織体制を整え、安全統括管理者をトップに各職場での安全管理に努めてまいります。



- 社長：輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。  
輸送の安全の確保に必要な要員・設備投資・財務に関する事項を統括する。
- 安全統括管理者：輸送の安全確保に関する業務を統括する。
- 運転管理者：安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する。
- 乗務員指導管理者：運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
- 施設管理者：安全統括管理者の下、施設に関する事項を統括する。
- 車両管理者：運転管理者の下、車両に関する事項を統括する。

## 6. 平成 27 年度の当社運転事故・輸送障害発生状況その他

- ・鉄道運転事故 : 0 件
- ・インシデント : 0 件
- ・輸送障害 : 2 件 ※
- ・傷害事故 : 0 件
- ・車両故障 : 0 件

※（30分以上の遅延及び運休が発生した事象）

4月 3日 川の増水のため列車運休、4本

6月 20日 トンネル内でカモシカを撥ね、列車運休2本

## 7. 安全対策実施状況

線路設備に関してはホームの嵩上、墳泥道床の交換、老朽設備の更新等継続して実施し、安全性の向上に努めております。

車両に関しては、日常の始業点検作業を確実に実施し、重要部検査及び定期点検も法律に定められたとおり実施しており、お客さまに安心して頂ける設備を提供しております。

なお、沿線の皆さまには夜間工事等で、ご迷惑をおかけする場合がございますが、列車の安全運行のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

○ 平成 27 年度の主な安全対策実施状況 (円)

・ホームの嵩上	7,500,000
・道床交換工事	3,000,000
・車両重要部検査	2,000,000
合 計	12,500,000

## 8. お客さまに優しい駅・鉄道をめざして

当社では、お客さま第一を合言葉に安全で安心してご利用していただけるように、支えて下さる地域住民の皆さまとともに、社員一丸となって知恵を出し合い、沿線環境の整備と駅舎の美化に努めてまいります。

列車アテンダントが乗車するまごころ列車は、市販の時刻表への表示も行い、初めていらっしゃるお客さまへの沿線案内やイベント案内、グッズ販売を行うなど、親しみやすい雰囲気を醸し出しております。

高齢者等で運転免許を返納された方には、優遇として運賃半額対応など、また、日中時間帯には薬師堂駅～矢島駅間、自転車を無料で持ち込みできる車両を設定し、お客さまがさらに利用しやすい鉄道を目指しております。

## 9. 『お客さまの声』について

当社に対するご意見・ご要望等については、引き続き車内の専用用紙やお客さまへのアンケートのほか、本社・有人駅に於いても電話や窓口にて受付をいたしております。また、ホームページやブログでも、お客さまのご意見・ご要望等もお受けして、社員全員がお客さまのお声を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

## 10. ご連絡先

〒015-0404

秋田県由利本荘市矢島町七日町字羽坂 21-2

由利高原鉄道株式会社

電話 0184-56-2736

FAX 0184-56-2850